

鏡川流域パートナーシップだより No.167 R6.8.8



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

クエスト「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024」の体験会②

スマホアプリ「Biome」を活用し、8月1日(木)から8月31日(土)までの期間、鏡川流域の動植物を調査するクエスト「**鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024**」を開催中！

8月7日(水)に、先週に引き続き、クエストの体験会を行いました。今回は、高知大学サークル「野生生物研究会」と高知大学同好会「いきものや」の学生さんと一緒に、宗安寺で動植物を調査しました！

☞ 宗安寺に到着すると、さっそく生き物探しスタート！**鏡川**に入り、岩陰をガサガサしたり、網で魚や水生生物を捕まえたりと、鏡川の自然を満喫！



☞ 「野生生物研究会」の正木春幸さん(高知大学工学部生物科学科3回生)が、釣り名人に教わりながら釣りに挑戦！カワムツなどを釣り上げました！



☞ この体験会は、まちのコイン「ぼっちり」を活用し、**関わりを可視化**しました！



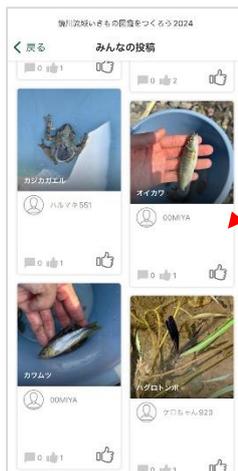
☞ 「いきものや」の市川空さん(高知大学工学部生物科学科2回生)も、釣り名人と一緒に釣りに挑戦！なんと、**アユを釣り上げました！**

遊漁券を持っている釣り名人の指導のもと、釣り方や「Biome」での同定、放流まで、きちんとした手順で行いました！



6名で約1時間実施した今回の調査では、新たに**21件**、動植物を図鑑に登録しました！

☞ 釣り上げたアユを図鑑に登録！レア度はDでした。



☞ 釣り上げた魚にカメラを構えて、**みんなで生き物の情報を確認！**とても盛り上がりました！



鏡川で遊びながら学ぶ素敵な時間でした！

☞ カジカガエルやヨシノボリなど、捕まえた生き物を「Biome」を使って同定し、「鏡川流域いきもの図鑑をつくろう 2024」のクエストに登録していきます！



☞ 植物もしっかりと調査！「野生生物研究会」の大宮隆行さん(高知大学工学部生物科学科3回生)は、「Biome」アプリの「しつもん」機能を活用してユーザーから正確な情報を集めていました。



調査後は、クエストをさらに盛り上げるためのアイデアを出し合いました。今後も2団体と連携し、**高知市の生き物調査の内容をさらに充実**させていきたいです！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android